

第6次益田市総合振興計画

【基本構想に関する検討用資料】

総合振興計画審議会

令和2年8月11日開催

益田市

1-1 益田市の現状

本市を取り巻く社会潮流とこれからの社会、本市の特性、市民意向、人口動態をはじめとした本市の現状を踏まえ、本市の課題を7つの主要課題として整理しました。

■益田市の現状及びアンケート調査と主要課題の関係図



1-2 まちづくりの主要課題

社会潮流、人口の推移、市民アンケート等により把握したまちの特徴や現状を踏まえ、まちづくりの主要課題として次の7項目を定めます。

(1) 誰もが健康で安心して生活できる環境が必要

- いきいきと健やかに暮らしていくため、住民全体の健康づくりをさらに進めていく必要があります。
- 病院勤務医師数については概ね横ばいで推移していますが、高齢者の増加にともない、医療に対する需要が増加すると見込まれており、また、開業医は高齢化などにより減少傾向にあります。そのため、誰もが安心して医療を受けることができるよう、医師をはじめとする医療従事者の確保や、医療提供体制の維持・継続が求められます。
- 高齢化が進む中において、誰もが生涯を通じて健康で安心して暮らせるまちづくりが求められています。特に、高齢者や障がい者の生活を地域で支えるまちづくりが必要です。そのため、介護予防策の推進や介護・保健福祉サービスの充実を図っていく必要があります。
- 出生数は減少傾向(自然減)にあるなど、少子化の局面を迎えている中で、各ライフステージに応じた切れ目のない支援が求められています。そのため、地域社会全体で子どもを見守り育む地域づくりを行うことや、安心して子どもを産み育てられる医療・生活環境の整備が必要です。

(2) 益田市を担うひとを育て、歴史・文化を継承していくことが必要

- 子どもの学力育成や学習環境の整備に強い期待がかかっています。児童・生徒数の減少が見込まれる中においても、教職員の資質の向上や、よりよい学習環境の整備が必要です。
- 進学・就職などを契機に若年層の転出が多い状況が続いており、このままでは、持続的な地域社会の維持が困難となる恐れがあります。そのため、未来を担う子どもが健やかに育つ環境や地域を知る取組をより充実させることにより、ふるさとに対する愛着心を育むことで、居住地として選ばれるまちを実現することが必要です。
- 益田市には、豊かな歴史・文化資源が残っており、日本遺産として認定を受けるなど、歴史・文化振興に対する期待は大きなものとなっています。益田市の歴史・文化を後世に残していくため、文化財の保存・活用に向けた取り組みの推進や、歴史・文化を学ぶ機会を創出することが必要です。

(3) 地域資源を活かした魅力的な産業の創出・育成が必要

- 少子高齢化により、就業者数が全体的に減少傾向にあるなかで、特に、農業や漁業への就業者数は、半数以上が60歳以上となっています。そのため、新たな人材の育成や新技術の導入などによる地域経済の発展や市民生活の向上に向けた、産業の振興を図っていく必要があります。
- 益田市には「アユ」や「メロン」、「ぶどう」、「トマト」などといった他に誇れる魅力的な特産品があります。しかしながら、ブランド化されておらず、魅力を活かしきれていないことが課題となっているため、これら地域の魅力的な産品をもっと多くの人に知ってもらうために、地域の誇る産品の高付加価値化が求められています。そのため、農林水産業や、商業、観光、サービス業など産業間との連携による付加価値の向上や地域ブランド化への支援が必要です。
- 中世益田氏の歴史をはじめとした魅力ある地域資源や萩・石見空港は、益田市の産業や観光業を支える存在であり、関係人口の拡大を図るうえで大きな可能性を秘めています。益田市を訪れる観光客は、近年のインバウンド需要により、外国人観光客を中心に増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感

感染症の拡大により観光客数の減少は避けられない状況となっています。そのような中、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るためには、安心・安全な旅行環境づくりを進めながら交流人口の維持・拡大を図る必要があります。さらに、地域とのかかわりが深まることによる関係人口の創出に結び付けるためにも、観光客に対する受け入れ体制の強化や、地域の魅力的な資源を発信するための情報基盤整備や拠点の整備が必要不可欠です。

(4) 安全で便利に暮らせる都市環境の創出が必要

- 救急搬送の速達性の向上や災害時のネットワーク確保、走行時の安全性の向上など地域の活性化・安全安心に資する多くの効果が見込めるものとして、山陰道の工事が着々と進んでいます。その他の道路においても、産業や観光の振興、生活利便性の向上のためには円滑な移動が可能な道路網や道路環境の整備が必要です。
- 益田市の都市基盤状況を見ると、狭隘道路が残る地区があるなど、市民の生活環境が長らく改善されていない地域もあります。そのため、良好な住環境や地区の魅力向上を図るための便利で魅力的な市街地の整備や、緑が感じられるまちなみの形成を図る必要があります。
- 益田市の都市交通として、JR やバスなどの公共交通網が形成されていますが、アンケートからは、「日常生活が不便」という不満が多く見受けられます。そのため、公共交通網の利便性の維持・向上を図ることで、市民が快適な暮らしを続けられる環境を整備する必要があります。

(5) 豊かな自然や風土の中で、快適に暮らせる住環境創出が必要

- 本市は、汚水処理人口の普及率が県内でも低い水準にあります。そのため、清潔で快適な生活環境の確保のためには、適切な設備の整備・更新などによる対応を図っていく必要があります。
- 2020 年に全国で最もきれいな川として、6 年ぶりに高津川が選定されるなど、自然環境は非常に豊かなものがあります。また、市民の誇りにも繋がっていることから、次世代に引き継いでいくべき貴重な資源として、今後も適切に保全していく必要があります。
- 地球規模での環境問題が深刻化しているため、環境に対する更なる意識の醸成を図っていく必要があります。そのため、低炭素社会や循環型社会の実現に向けた取り組みを推進していく必要があります。

(6) 市民や地域の活躍を支えていく環境づくりが必要

- 益田市では、住民自治を基本として地域自治組織が運営されており、地域住民の生活を維持するための重要な機能を担っています。中山間地域においては、特に少子高齢化の傾向が強いため、活動に対する継続的な支援を行っていく必要があります。
- 地域自治組織や NPO 法人を中心とした市民活動団体のまちづくりへの活動や、地域住民自らによる、地域の課題解決に向けた取り組みについての期待が高まっています。さらに、地域の課題は行政と地域と一緒に解決すべきとの意向も強く、効果的で満足度の高い行政サービスの提供や市民が直面する地域課題の解決には、市民や各種団体、行政の協働が不可欠です。
- 集中豪雨や河川の氾濫など自然災害が全国で多発する状況において、危機管理対策が重要となってきます。緊急時における迅速かつ的確な避難体制の構築には市民同士の連携が必要不可欠です。そのような中、自主防災組織率は県内でも低い水準となっていることから、大型化する災害に対して自助と共助による地域の防災力の強化を図る必要があります。また、災害の種類や規模に関わらず、災害発生時に被害を最小限にとどめ、迅速な復旧復興が図れるよう、平時から地震や浸水、土砂災害等の防止

のための整備を行う必要があります。

- 益田市には、賃貸や売却等、活用の予定がないまま放置される空き家が増加しています。その結果、生活環境の更なる悪化などの問題が深刻化する恐れがあります。そのため、これら空き家対策を図っていくほか、空き家の活用による UI ターン者への定住に結び付けていくことも必要です。

(7) 効率的・効果的な行財政運営が必要

- 近年の社会保障関係経費の増加に加え、災害に強いまちづくりや、公共施設の更新が急務となっており、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれます。しかしながら、厳しい状況であっても、更なる施策の充実や課題解決に向けた施策を講じながら市民に対する生活サービスの質の向上を図る必要があります。そのため、最小の費用で最大の効果が得られるよう、適切な選択による事業の見直しを行う必要があります。
- 持続的な益田市の運営のためには、市民の力だけでなく、行政職員の資質の向上や意識改革を図る必要があります。そのため、高度化・複雑化する行政課題や市民ニーズに対して行政職員自身が分野横断的な視点による課題解決能力を高めることができる環境を整えることが必要です。

(8) 人口減少に打ち勝つ持続可能な地域づくりが必要

- 今後も当面の間、人口減少は避けられない課題であり、人口減少社会に打ち勝つ持続可能な地域づくりを実現することが求められます。そのため、産業の活性化のための「しごとの担い手」育成、地域を支え魅力を高める「地域づくりの担い手」育成、自らの可能性を広げることのできる「未来の担い手」育成を引き続き推進し、人口減少に歯止めをかけるために欠かせない人材育成に取り組む必要があります。
- 複雑化する地域課題に対応し、持続可能なまちづくりを進めるためには、さまざまな立場の人が互いに協力し、一緒に解決の道筋を考えていくことが必要です。そのため、従来の行政の枠組みや官・民あるいは民間どうしの垣根を超えた協働の取組みを推進する必要があります。
- 人口減少対策として、従来の「定住人口」だけでなく、「交流人口」、「関係人口」の考え方に基づいて都市部と地方とのつながりを強化する施策が、国において進められています。本市においても、定期的に本市と関わりを持つ人のすそ野を広げていくことにより、益田の魅力を市外へ発信し、将来的な定住人口の増加へつなげていく取組みが必要です。
- 人口減少社会においても安全・安心かつ便利に暮らせる持続可能なまちづくりを進めるためには、生活の質の向上につながる、人工知能(AI)や ICT(情報通信技術)など、先端技術を活用しながら、課題解決を図っていく必要があります。そのため、国が推進する「Society 5.0」の動きを注視しながら、益田市の環境に合わせた適切な技術の導入を図り、快適で安全な社会の構築に向けた取組みを推進する必要があります。

2 益田市のめざす姿

2-1 まちの将来像

平成 23 年(2011)3 月に策定した第 5 次総合振興計画では、『市民・地域が躍動し、希望に輝く益田』を将来像とし、市民・地域が中心の体制をより強固にするため、郷土の誇りである豊かな自然や歴史・文化の中で、市民がまちづくりの主役として活躍し、市民一人ひとりがこのまちになくてはならない存在であると感じながら、人も地域も輝けるまちの実現を目指してきました。

第 5 次総合振興計画の策定から10年が経ち、現在の社会経済情勢は、少子高齢化の更なる進行や大規模災害の頻発、ICT(IoT や AI 等の情報通信技術)の進展など、変化が激しい時代を迎えています。そのような中において、高津川をはじめとした豊かな自然“環境”、地域に根付いた地場“産業”、地域自治組織を核としたコミュニティ“社会”、魅力あふれる個性的な益田の“人”などの多彩な地域資源を活用したまちづくりを行うことで、これまで以上に市民や団体、事業者など多様な主体をまちづくりの場に巻き込み、お互いに助け合いながら元気に笑顔で暮らせるような環境づくりが必要になります。

特に益田市では、「ひとが育つまち」を掲げて人材育成に力を入れて取り組んでおり、ひと(=「人的資源」)を中心としながらも、それを支える地域資源である「環境資源」、「産業資源」、「社会資源」を生かし、お互いの資源の中で循環を図ることが大切です。

このような循環の中で、益田に暮らす私たちは、日頃から様々な影響を受けながら成長していき、その積み重ねの過程で磨かれていくことで、将来の益田を支える輝く人材になると考えます。

以上のことを踏まえ、本市の目指すまちの将来像を『○○』とし、市民が主体のもと、今後 10 年間のまちづくりを進めていきます。

まちの将来像

案①:ぬくもりあふれる ひとが育ちかがやくまち ますだ

案②:人がかがやく お互いが支え合いながら元気に暮らせるまち ますだ

案③:人がかがやく 支え合いの輪でつながるまち ますだ

※作業チーム(庁内会議)で出た「まちの将来像」案

○ひとが育ち輝くまち 益田

○ひとが輝き ひとが育つまち 益田

○ひとが育ち ぬくもりあふれるまち ますだ

○人がつどい 住み(暮らし)続けたいまち ますだ

○人が育ち 人でつながる 笑顔あふれるまち 益田

○人と人がつながり 協働と連携が循環するまち 益田

○人が人を育み 人のつながりが希望と活力を与えるまち 益田

2-2 基本理念

(1) まちの将来像を実現するための重要な資源

本市では、「環境」、「産業」、「社会」、「人」の4つの資源とそれらを構成する様々な要素について、まちの将来像を実現するための重要な資源として捉え、市民・行政とが共に守り育てていながら、持続的なまちづくりを進めていきます。

また、「環境」、「産業」、「社会」の循環の中で、益田市の「人」が関わることによるまちの更なる活力の創出など、資源間の相乗効果も見込まれることから、これら相互関係の強化と循環による、連携感を持った一体的まちづくりを進めていく必要があります。

| 資源を構成する要素 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 人 | <ul style="list-style-type: none"> ・雇用 ・教育 ・健康 ・人としての成長 ・人材育成 ・人との交流 | [教育の様子]  写真 | [いきいき百歳体操の様子]  写真 など |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・気候 ・エネルギー ・水、空気、土 ・歴史、文化 ・都市環境 | [清流高津川]  写真 | [唐音水仙公園]  写真 など |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業 ・第2次産業 ・第3次産業 ・技術の進歩 ・付加価値 | [稲刈りの様子]  写真 | [高校生による手作りジャム実習]  写真 など |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加 ・男女共同参画 ・お互いの信頼 ・助け合い | [清掃活動の様子]  写真 | [昔あそびの様子]  写真 など |

(2) まちづくりの方向性

以下に、「人」、「環境」、「産業」、「社会」の4つの資源間の関係性とお互いがうまく機能した際の循環のイメージを示します。

■「人」、「環境」、「産業」、「社会」の間における関係性

「環境」から「産業」への関係

・自然の恵みを享受し、発展する関係

「産業」から「社会」への関係

・私たちの生活や地域を豊かにする関係

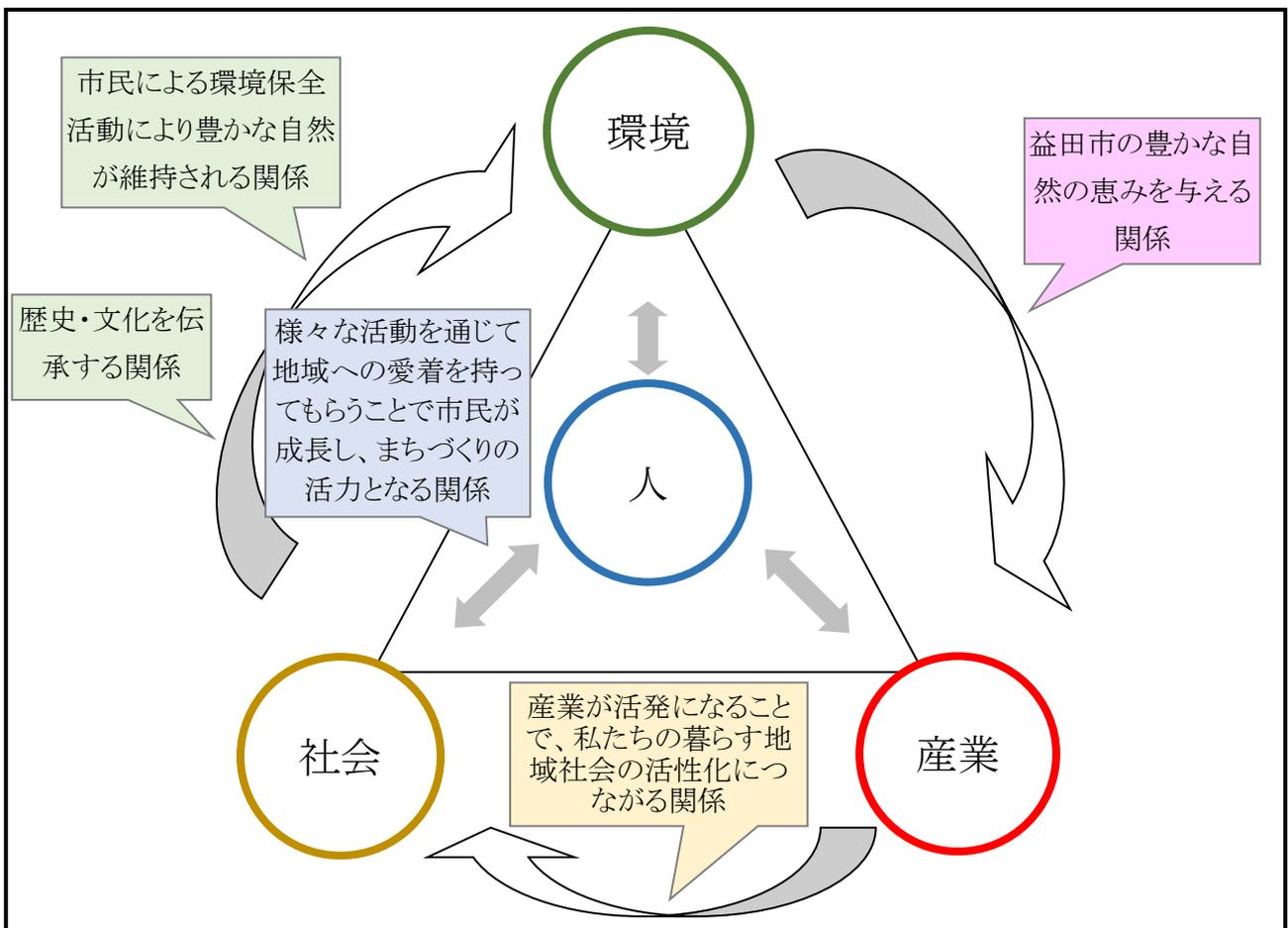
「社会」から「環境」への関係

・市民による環境保全活動により豊かな自然が維持される関係
・歴史・文化を伝承する関係

「環境」、「産業」、「社会」から「人」への関係

・地域への愛着や郷土愛の醸成に繋がり、誇りとなって、市民が成長し、まちづくりの活力となる関係

■良好な循環のイメージ



まちの将来像

案①:ぬくもりあふれる ひとが育ちかがやくまち ますだ

案②:人がかがやき お互いが支え合いながら元気に暮らせるまち ますだ

案③:人がかがやく 支え合いの輪でつながるまち ますだ

(3) SDGs の目的と自治体行政の関係

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の開発目標です。この目標は、世界共通の17の目標(ゴール)と、これに紐づく169のターゲットから構成され、持続可能で多様性があり、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

わが国では、平成28年5月に、内閣総理大臣を本部長とする「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」を設置し、同年12月に、「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」を決定するとともに、SDGs未来都市を選定し、自治体レベルでのSDGsの普及・推進を図っています。

■SDGsにおける17の目標



ロゴ：国連広報センター作成

(4) 益田市における SDGs について

本計画の推進にあたっては、市の特性や現状でも示すように、豊かな自然環境や歴史・文化を始めとした本市ならではの特性を活かしていくとともに、変化し続ける課題への対応力を向上させ、持続可能なまちづくりを目指す必要があります。

本市では持続可能なまちづくりの実現を目標に、令和2年3月に「益田市協働のまちづくり推進条例」(以下「条例」という。)を制定し、行政はもちろん地域住民や地域自治組織、事業者など、多様な主体が共通の目的を達成するために、互いを尊重し、対等の立場で協力し、ともに取り組むことを規定しました。

本市ではこれまでも、まちづくりラウンドテーブル(MRT)や益田版カタリ場など、「対話」の中で他者の知見を学びあう「協働」のプロセスを重視した取り組みを行っています。これにより、多様な主体が互いをパートナーとして認め、継続的なつながりが生まれることで、地域の課題対応力の向上が期待されています。

今後、社会の変化は一層激しくなり、それに伴い地域の課題もより複雑化することが予想されます。このような状況の中、持続可能なまちづくりを実現するためには、条例に定める多様な主体がそれぞれの役割を果たしていくことが不可欠であり、これを担う人材育成が重要となります。

SDGsの17番目のゴールである「パートナーシップで目標を達成しよう」は、条例の趣旨やこれまでの本市の取り組みの方向性と合致するものです。「基本理念」で示した本市の資源の一つ「人」が、パートナーとして互いに協力し合い、協働のまちづくりを進めることで、他の3つの資源「環境」、「産業」、「社会」の好循環が生まれ、本市のまちの将来像「〇〇」が達成できるものと考えます。

以上のことを踏まえ、「人」、「環境」、「産業」、「社会」の4つの資源それぞれに対応した本市独自の目標(益田市版 SDGs (MSDGs))を次のとおり設定します。

なお、MSDGs は、SDGs の目標達成にもつながるような役割も果たすものとして、MSDGs それぞれに対して、関連する SDGs を示しています。

■ 益田市が掲げる 4 つの MSDGs の概要



(5) MSDGs (益田市版 SDGs について) の詳細

| | |
|--|--|
| <p>MSDGs ①</p> | <p>人が育ち、市民一人ひとりが輝くまち(案)</p> |
|  <p><人></p> | <p>まちの将来像を達成するためには、これからの益田を支える人材の育成が必要なため、個々の力を引き出し、人が活躍できる環境づくりが重要であると考えています。</p> <p>これを実現するためには、雇用環境の改善、教育環境の整備、地域の魅力を伝える人材の育成、地域福祉を担う人材の育成などに取り組むことが重要です。</p> <p>これらに取り組むことで、『人が育ち、市民一人ひとりが輝くまち』を目指します。</p> |
| <p>益田市が目指すゴール(例)</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な就業機会が確保され個人のライフスタイルに合わせた働き方が実践されています。 ・高いレベルの教育が受けられる環境が整備され、様々な分野において元気あふれる人材が継続的に生まれています。 ・地域の魅力を伝える人材が増え、地域の活性化に寄与しています。 ・若者から高齢者まで安心して日常生活を営むことができる社会となっています。 | |
| <p>KGI(将来像を達成するための指標)(例)</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート「次代を担う若者の地元就職の促進」の実感度〇〇%(現状〇〇%) ・市民アンケート「確かな学力の向上を目指した教育の推進」の実感度〇〇%(現状〇〇%) | |
| <p>市民アンケートの結果等を基に、KGIを設定。</p> | |
| <p>市民と行政の協働の取り組み例</p> | |
| <p>【市民の役割】</p> | |
| <p>市民アンケートの結果等を基に、市民の役割を記載</p> | |
| <p>【行政の役割】</p> | |
| <p>施策動向調査の結果等を基に、行政の役割を記載</p> | |
| <p>関連する SDGs</p> | |
|  | |

| | | | | |
|---|--|---|---|--|
| MSDGs ② | 自然や環境、歴史などの資源が残るまち(案) | | | |
|  <p><環境></p> | <p>まちの将来像を達成するためには、市民一人ひとりが益田市の自然環境に興味を持ち、実際に行動に移すきっかけづくりが重要であると考えています。</p> <p>これを実現するためには、益田市の豊かな自然環境の保全活動の充実、生活環境保全に向けた市民主体による行動の促進、充実した住環境の整備、地域の魅力に、身近に触れることができる機会を設けることなどに取り組むことが重要です。</p> <p>これらに取り組むことで、『自然や環境、歴史などの資源が残るまち』を目指します。</p> | | | |
| 益田市が目指すゴール(例) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな水の流れる高津川など豊かな自然が将来に渡って残っています。 ・清潔な生活空間が広がり安心して暮らせる地域となっています。 ・個人が思い描く理想的な生き方ができるまちとなっています。 ・身近に歴史・文化が感じられ、豊かな市民生活の醸成や地域への誇りや愛着が生まれています。 | | | | |
| KGI(将来像を達成するための指標)(例) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート「高津川・益田川等の河川の水質保全」の実感度〇〇%(現状〇〇%) ・市民アンケート「地球環境保全に関する取組みの推進」の実感度〇〇%(現状〇〇%) | | | | |
| <p>市民アンケートの結果等を基に、KGIを設定。</p> | | | | |
| 市民と行政の協働の取組み例 | | | | |
| 【市民の役割】 | | | | |
| <p>市民アンケートの結果等を基に、市民の役割を記載</p> | | | | |
| 【行政の役割】 | | | | |
| <p>施策動向調査の結果等を基に、行政の役割を記載</p> | | | | |
| 関連する SDGs | | | | |
|  |  |  |  |  |

| | |
|---|--|
| MSDGs ③ | 持続的な産業が営まれているまち(案) |
| <div data-bbox="161 315 443 600" style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;"><産業></p> | <p>まちの将来像を達成するためには、安定的な雇用の確保と技術開発が重要であると考えています。</p> <p>これを実現するためには、適切な事業継承の実施、農商工連携による新たなサービスの開発支援、観光振興に関する情報発信及び整備などに取り組むことが重要です。</p> <p>これらに取り組むことで、『持続的な産業が営まれているまち』を目指します。</p> |
| 益田市が目指すゴール(例) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年代の人が、益田市で元気に働いています。 ・時代潮流の変化に柔軟に対応できる産業が構築されています。 ・益田市の魅力的な観光資源に触れるために、多くの観光客が来ています。 | |
| KGI(将来像を達成するための指標)(例) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート「意欲のある担い手の育成・支援」の実感度〇〇%(現状〇〇%) ・市民アンケート「特産品等の高付加価値化の推進」の実感度〇〇%(現状〇〇%) | |
| <p style="text-align: center;">市民アンケートの結果等を基に、KGIを設定。</p> | |
| 市民と行政の協働の取組み例 | |
| 【市民の役割】 | |
| <p style="text-align: center;">市民アンケートの結果等を基に、市民の役割を記載</p> | |
| 【行政の役割】 | |
| <p style="text-align: center;">施策動向調査の結果等を基に、行政の役割を記載</p> | |
| 関連する SDGs | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #c0392b; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 8 働きがいも 経済成長も  </div> <div style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  </div> <div style="background-color: #f1c40f; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 11 住み続けられる まちづくりを  </div> <div style="background-color: #8e44ad; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 12 つくる責任 つかう責任  </div> </div> | |

| | |
|---|--|
| <p>MSDGs 4</p> | <p>地域のつながりや支え合いを大切にするまち(案)</p> |
| <div data-bbox="161 315 443 600" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="245 629 360 663"><社会></p> | <p>まちの将来像を達成するためには、地域コミュニティの強化が重要であると 考えています。</p> <p>これを実現するためには、地域自治組織活動の強化、市外人材に対する受 け入れ態勢の強化、社会活動の強化などに取り組むことが重要です。</p> <p>これらに取り組むことで、『地域のつながりや支え合いを大切にするまち』を 目指します。</p> |
| <p>益田市が目指すゴール(例)</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民がお互いの信頼のもと、地域の課題を主体的に解決できるコミュニティと支え合う関係が構築されています。 ・UI ターン者や外国人など地域外からの人もすんなり地域に溶け込み、活躍しています。 ・益田市に暮らす全ての市民が、便利に暮らせるまちになっています。 | |
| <p>KGI(将来像を達成するための指標)(例)</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート「地域自治組織の充実と活動拠点づくり」の実感度〇〇%(現状〇〇%) ・市民アンケート「市民の参画機会の拡充」の実感度〇〇%(現状〇〇%) <div data-bbox="188 1070 1418 1137" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>市民アンケートの結果等を基に、KGI を設定。</p> </div> | |
| <p>市民と行政の協働の取組み例</p> | |
| <p>【市民の役割】</p> <div data-bbox="193 1249 1426 1384" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>市民アンケートの結果等を基に、市民の役割を記載</p> </div> <p>【行政の役割】</p> <div data-bbox="193 1447 1426 1581" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>施策動向調査の結果等を基に、行政の役割を記載</p> </div> | |
| <p>関連する SDGs</p> | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="177 1648 339 1807" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="360 1648 523 1807" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="544 1648 707 1807" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="727 1648 890 1807" data-label="Image"> </div> </div> | |

3 将来像を実現するための基本目標

3-1 分野別の基本目標

分野別の基本目標としては、以下の 7 つの目標を掲げます。分野別の基本目標の達成に向けては、MSDGs を踏まえて、具体的な取組みを実施し、まちの将来像である「〇〇」の実現を目指します。



3-2 分野別の基本施策

(1) 基本目標Ⅰ 誰もが健康で、安心して生活できるまち

本市では、安心して産み育てることの出来る環境、子どもを育てる環境の構築に加え、地域が一体となって、これらの世代の人々を支えていくなど、地域全体で取り組む必要があります。

また、子どもからお年寄りまで、それぞれの年齢に応じた医療・福祉サービスの充実により、安心して暮らせる地域づくりが必要です。

さらに、差別や偏見をなくし、誰もが平等に社会参画できるような環境の構築が求められています。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅰ 誰もが健康で、安心して生活できるまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 次世代育成支援の充実を図ります
- 2 保健・予防や健康づくりを推進します
- 3 救急・医療体制の充実を図ります
- 4 地域福祉の充実を図ります
- 5 人権を尊重し、男女共同参画を推進します

(2) 基本目標Ⅱ ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち

本市では、安心して教育を受けることができる環境の整備や、将来の益田市を担う世代に対して、地元への愛着心を醸成する教育を推進する必要があります。そのため、益田市の食文化に触れる機会の創出や、地域の歴史・文化を学ぶ機会を設ける必要があります。

また、芸術や文化交流、スポーツ振興などの市民活動への支援を通じて、市民の生きがいと健康づくりを支援する必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅱ ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 次代を担う人を育てる教育の充実を図ります
- 2 地域に根づく食育・食農教育を推進します
- 3 地域・世代を越えた学習機会を創出します
- 4 歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します
- 5 生涯スポーツ社会の実現に取り組みます

(3) 基本目標Ⅲ 産業・観光振興による活力のあるまち

本市では、持続的な地域経済の発展に向けて、担い手の確保や農産物の加工や販売等を通じた高付加価値化、企業誘致などを推進する必要があります。

また、新たな産業の創出に向け、新技術を活用するなど、産業全体での技術力を高めていく必要があります。

さらに、本市の魅力を最大限に活かした観光地域づくりと効果的な情報発信により、交流人口の拡大を図る必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅲ 産業・観光振興による活力のあるまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 特徴ある農林水産業の基盤を強化します
- 2 こだわりの益田ブランドを推進します
- 3 市内の産業構造や基盤を強化します
- 4 新産業の創出や起業支援を行います
- 5 観光・交流を促進します

(4) 基本目標Ⅳ 広域連携や交流を促す基盤が整備されたまち

本市では、地場産業の発展や観光促進、地域住民の安全・快適な移動に配慮した道路整備及び交通体系の整備が求められています。

また、地域ごとの特性に配慮した、良好な市街地形成を推進する必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅳ 広域連携や交流を促す基盤が整備されたまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 市内外のアクセスを確保する道路網を整備します
- 2 生活を支える公共交通機関を整備します
- 3 魅力ある市街地を形成します
- 4 ブロードバンド環境の整備などによる地域情報化を推進します

(5) 基本目標Ⅴ 豊かな自然環境と快適な生活環境の中で暮らすまち

本市では、安心して快適に生活ができる住環境の整備を行う必要があります。

また、快適な生活環境を保全するため環境の整備や取組の推進が必要です。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅴ 豊かな自然環境と快適な生活環境の中で暮らすまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 暮らしやすい住環境を創出します
- 2 人と地球にやさしい地域環境を形成します
- 3 豊かな自然環境を保全します

(6) 基本目標Ⅵ 人と人がつながり、お互いに支え合うまち

本市では、市民が安心して生活できるよう、犯罪や交通事故等を未然に防ぐための啓発活動や見守り活動の促進を図る必要があります。

また、災害に備えた災害対策や自主防災組織による減災対策が必要です。

さらに、持続的な発展のためには、地域に関わる多様な主体同士の連携の強化や外部人材の積極的な受け入れを行っていく必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅵ 人と人がつながり、お互いに支え合うまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 地域の安全対策を強化します
- 2 自助・共助・公助の消防・防災体制を強化します
- 3 多様な主体が参画する地域自治組織の形成を促進します
- 4 地域への定住を確保するための集落対策を促進します

(7) 基本目標Ⅶ 市民と行政がともに協働し、健全で自立した行財政運営が行われるまち

本市では、市民と行政が一体となって地域を支える必要があります。

また、健全な行財政運営に関しての適切な情報公開を進めるとともに、効率的な情報共有を図る必要があります。

さらに、公共施設の適切な予防保全を図りながら、管理の適正化を図る必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅶ 市民と行政がともに協働し、健全で自立した行財政運営が行われるまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 市民と行政の協働を推進します
- 2 分かりやすく開かれた行政を推進します
- 3 効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います

横断目標 人口減少社会においても持続可能なまち

○○○○

基本施策

- 1
- 2
- 3

・「ひとづくり」に関すること
・協働の取組みに関すること
・ICTの活用に関すること
を入れる。
※具体的な文言は今後検討

3-3 施策体系

まちの
将来像



基本目標Ⅰ

誰もが健康で、安心して生活できるまち

基本施策Ⅰ

次世代育成支援の充実を図ります

<具体施策>

- ①地域ぐるみの子育て支援の推進
- ②多様な子育て支援ニーズに対応した保育サービスの充実
- ③子育て家庭等へのサポート体制の充実
- ④特に支援を必要とする子どもや家庭への支援体制の充実
- ⑤子育てと仕事が両立できる環境づくり
- ⑥子育て支援と学びの場の両立

基本施策Ⅱ

保健・予防や健康づくりを推進します

<具体施策>

- ①保健予防体制の充実
- ②各世代に応じた予防活動の充実
- ③市民参画による健康づくり活動の充実
- ④地域資源を活用した心と身体の健康づくりの推進
- ⑤感染症予防対策の充実

基本施策Ⅲ

救急・医療体制の充実を図ります

<具体施策>

- ①益田赤十字病院・益田地域医療センター医師会病院を核とした医療機関の連携による地域医療の確保
- ②救急医療体制の充実
- ③無医地区等の地域医療体制の充実
- ④国民健康保険財政の健全運営

基本施策Ⅳ

地域福祉の充実を図ります

<具体施策>

- ①地域包括ケアシステムの推進
- ②市民ニーズに対応した各種介護・障がい福祉サービス体制の充実
- ③高齢者や障がい者が安心して生活できる環境づくり
- ④障がい者の就労の場づくりと社会参画支援
- ⑤ユニバーサルデザイン・バリアフリーの推進
- ⑥地域共生社会の推進
- ⑦自立を支えるセーフティネットを推進します

基本施策Ⅴ

人権を尊重し、男女共同参画を推進します

<具体施策>

- ①人権・同和教育と人権啓発の推進
- ②あらゆる分野での男女共同参画の促進

基本目標Ⅱ

ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち

基本施策Ⅰ

次代を担う人を育てる教育の充実を図ります

<具体施策>

- ①地域ぐるみでの教育推進
- ②確かな学力の向上を目指した教育の推進
- ③子どもの可能性を伸ばす、個性を大切に教育の推進
- ④ふるさとを愛し、誇りを持つ心を育てる教育の推進
- ⑤豊かな心と健やかな身体を育む教育の推進
- ⑥教育環境の整備・活用
- ⑦ライフキャリア教育の推進による生きる力の育成

基本施策Ⅱ

地域に根づく食育・食農教育を推進します

<具体施策>

- ①食への感謝の気持ちや意識・知識の向上
- ②地域の食文化の継承
- ③安心安全な食の提供
- ④食農教育の推進

基本施策Ⅲ

地域・世代を越えた学習機会を創出します

<具体施策>

- ①地域間の連携による学習内容の多様化と指導者のネットワーク化
- ②知識・技術を持った人材を活かした学習プログラムづくり
- ③社会教育の推進と活動拠点づくり
- ④気軽に読書に親しめる環境の整備
- ⑤地域団体などとの連携による多様な学習機会の創出

基本施策Ⅳ

歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します

<具体施策>

- ①豊かな歴史・文化資源を保存・継承・活用したまちづくりの推進
- ②伝統文化を守り、継承する活動の支援
- ③島根県芸術文化センター「グラントワ」を核とした文化交流の振興

基本施策Ⅴ

生涯スポーツ社会の実現に取り組みます

<具体施策>

- ①スポーツ環境の充実
- ②スポーツイベント等を通じた地域間交流の推進
- ③市民の体力・競技力の向上
- ④スポーツの指導者・スポーツボランティアの育成

基本目標Ⅲ

産業・観光振興による活力のあるまち

基本施策Ⅰ

特徴ある農林水産業の基盤を強化します

<具体施策>

- ①意欲のある担い手の育成・支援
- ②地域営農体制づくりと生産基盤の整備
- ③環境保全型農業の推進
- ④豊富な森林資源を活かした林業の振興
- ⑤川と海の恵みを活かした水産業の振興

基本施策Ⅱ

こだわりの益田ブランドを推進します

<具体施策>

- ①地産地消の推進
- ②6次産業化による生産・加工・販売体制の強化
- ③特産品等の高付加価値化の推進

基本施策Ⅲ

市内の産業構造や基盤を強化します

<具体施策>

- ①既存企業の育成支援
- ②石見臨空ファクトリーパーク等への新規企業の立地促進
- ③次代を担う若者の地元就職の促進

基本施策Ⅳ

新産業の創出や起業支援を行います

<具体施策>

- ①新・省エネルギーの利活用による新分野の育成
- ②新規創業と事業継承の支援
- ③時代のニーズにあった技術・能力の育成・支援

基本施策Ⅴ

観光・交流を促進します

<具体施策>

- ①観光地域づくりの推進
- ②益田に行きたくなる観光情報の発信
- ③インバウンド観光の充実
- ④国内交流・国際交流の推進
- ⑤自転車を活用した観光・交流の推進



横断目標

人口減少社会においても持続可能なまち

基本目標Ⅳ

広域連携や交流を促す基盤が整備されたまち

基本施策Ⅰ

市内外のアクセスを確保する道路網を整備します

<具体施策>

- ①安全、きれいな道路環境づくり
- ②グリーンライン90の整備促進
- ③高速道路網の整備促進
- ④国道・県道等の幹線道路の改良整備促進
- ⑤市道・農道・林道の整備

基本施策Ⅱ

生活を支える公共交通機関を整備します

<具体施策>

- ①公共交通機関と相互に連携した公共交通利用促進を目指す
- ②市街地及び中山間地域と市街地を繋ぐ持続可能な交通体系の構築を地域と協働して目指す
- ③**変更**

基本施策Ⅲ

魅力ある市街地を形成します

<具体施策>

- ①都市計画区域の整備、開発及び保全による都市機能の向上
- ②地域ごとの魅力を活かしたまちづくりの推進
- ③区画整理及び地籍調査の推進
- ④美しい景観の保全

基本施策Ⅳ

ブロードバンド環境の整備などによる地域情報化を推進します

<具体施策>

- ①情報通信格差の是正
- ②高速情報通信基盤を活用した利便性の高いサービスの推進

基本目標Ⅴ

豊かな自然環境と快適な生活環境の中で暮らすまち

基本施策Ⅰ

暮らしやすい住環境を創出します

<具体施策>

- ①安全・安心かつ快適な暮らしを実現する住宅及び居住空間の確保
- ②公園や親水空間等の日常生活の憩いの場の整備
- ③地域の生活拠点における商業拠点の維持・向上

基本施策Ⅱ

人と地球にやさしい地域環境を形成します

<具体施策>

- ①地球環境保全に関する取組みの推進
- ②生活環境保全に関する取組みの推進
- ③一般廃棄物の適正な処理とごみ分別収集によるリサイクル及び減量化の推進
- ④下水道等の整備
- ⑤上水道施設の耐震化・更新の推進

基本施策Ⅲ

豊かな自然環境を保全します

<具体施策>

- ①自然環境保全に対する市民意識の啓発
- ②高津川・益田川等の河川の水質保全
- ③森林の公益機能を維持するための適正な管理

基本目標Ⅵ

人と人がつながり、お互いに支え合うまち

基本施策Ⅰ

地域の安全対策を強化します

<具体施策>

- ①生活・交通安全対策の充実
- ②防犯体制の充実・強化

基本施策Ⅱ

自助・共助・公助の消防・防災体制を強化します

<具体施策>

- ①防災体制の充実
- ②地震や土砂崩れ等の自然災害対策の充実
- ③消防・救急・救助体制の充実・強化

基本施策Ⅲ

多様な主体が参画する地域自治組織の形成を促進します

<具体施策>

- ①小さな拠点づくりの推進
- ②地域人材の育成
- ③市民活動団体・NPO法人等の組織の育成・支援

基本施策Ⅳ

地域への定住を確保するための集落対策を促進します

<具体施策>

- ①U・Iターンの支援
- ②空き家の利用促進

基本目標Ⅶ

市民と行政がともに協働し、健全で自立した行財政運営が行われるまち

基本施策Ⅰ

市民と行政の協働を推進します

<具体施策>

- ①市民の参画機会の拡充
- ②行政による協働の推進

基本施策Ⅱ

分かりやすく開かれた行政を推進します

<具体施策>

- ①情報公開制度の充実
- ②広報・広聴機能の充実
- ③財政状況等の公表
- ④透明性のある議会機能の充実

基本施策Ⅲ

効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います

<具体施策>

- ①市民ニーズに対応した行政組織の再編
- ②個人番号カードを活用した効率的かつ効果的な行政サービスの充実
- ③財政計画に基づく健全な事業運営の推進
- ④民間活力の導入などによる効率的かつ効果的な施設の管理・運営の推進